



## 2021年2月期 第2四半期決算補足説明資料

株式会社 オンワードホールディングス

2020年10月9日

P.2-3	...	連結合計 上期実績
P.4-5	...	連結合計 通期予想
P.6	...	今後のグループ経営方針
P.7-8	...	オンワード樫山単体 上期実績/通期予想
P.9-10	...	国内グループ会社計 上期実績/通期予想
P.11-12	...	海外グループ会社計 上期実績/通期予想
P.13-15	...	財務状況について
P.16-20	...	DATA BOOK

## 連結合計

(百万円)

	第1四半期				第2四半期				上期			
	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
売上高	42,265	64,878	▲ 22,613	65.1%	38,320	53,588	▲ 15,268	71.5%	80,585	118,466	▲ 37,881	68.0%
売上総利益	19,271	31,005	▲ 11,734	62.2%	14,607	23,302	▲ 8,695	62.7%	33,878	54,307	▲ 20,429	62.4%
(売上比)	45.6%	47.8%	▲ 2.2%		38.1%	43.5%	▲ 5.4%		42.0%	45.8%	▲ 3.8%	
販管費	21,383	28,065	▲ 6,682	76.2%	23,982	27,103	▲ 3,121	88.5%	45,365	55,168	▲ 9,803	82.2%
(売上比)	50.6%	43.3%	+7.3%		62.6%	50.6%	+12.0%		56.3%	46.6%	+9.7%	
営業利益	▲ 2,112	2,940	▲ 5,052	-	▲ 9,375	▲ 3,801	▲ 5,574	-	▲ 11,487	▲ 861	▲ 10,626	-
(売上比)	-	4.5%			-	-			-	-		
経常利益	▲ 1,746	3,206	▲ 4,952	-	▲ 9,708	▲ 4,023	▲ 5,685	-	▲ 11,454	▲ 817	▲ 10,637	-
当期純利益	▲ 2,417	1,621	▲ 4,038	-	▲ 12,771	▲ 26,053	+13,282	-	▲ 15,188	▲ 24,432	+9,244	-
EBITDA	▲ 604	5,186	▲ 5,790	-	▲ 7,969	▲ 1,404	▲ 6,565	-	▲ 8,573	3,782	▲ 12,355	-

※連結相殺消去後

※EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

上期の連結売上高は、前年比32%減の約806億円となった。コロナ禍の影響が特に大きかった欧州事業を中心に、海外事業の第2四半期（3-5月および4-6月）の売上が前年比63%減と大きく減少したことが響いた。

国内事業についても、特に都心店舗の集客数と売上高が、第2四半期（6-8月）も引き続き低迷した。大型催事の大半を中止したことも、売上高の不振につながった。

他方で、上期の国内EC売上高は、前年比38%増の約197億円と大きく伸長した。対象事業のEC化率は35%、自社EC比率は91%となった。

上期の国内販路別売上高構成比は、ECが35%、百貨店が30%、SCその他が35%と、初めてECが百貨店を上回った。

長期間にわたる店舗の休業中に販売機会を失った商品については、過度な値引き販売による現金化を行わず、下期以降に正価販売を行う方針である。このため、在庫の評価損が一時的に大きく膨らんだことなどから、上期の連結損益は営業損失が約115億円、当期純損失が約152億円となった。

## 連結合計

(百万円)

	上期				下期				通期			
	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
売上高	80,585	118,466	▲ 37,881	68.0%	106,915	129,767	▲ 22,852	82.4%	187,500	248,233	▲ 60,733	75.5%
売上総利益	33,878	54,307	▲ 20,429	62.4%	49,507	58,376	▲ 8,869	84.8%	83,385	112,683	▲ 29,298	74.0%
(売上比)	42.0%	45.8%	▲ 3.8%		46.3%	45.0%	+1.3%		44.5%	45.4%	▲ 0.9%	
販管費	45,365	55,168	▲ 9,803	82.2%	46,965	60,576	▲ 13,611	77.5%	92,330	115,744	▲ 23,414	79.8%
(売上比)	56.3%	46.6%	+9.7%		43.9%	46.7%	▲ 2.8%		49.2%	46.6%	+2.6%	
営業利益	▲ 11,487	▲ 861	▲ 10,626	-	2,542	▲ 2,200	+4,742	-	▲ 8,945	▲ 3,061	▲ 5,884	-
(売上比)	-	-			2.4%	-			-	-		
経常利益	▲ 11,454	▲ 817	▲ 10,637	-	3,004	▲ 3,018	+6,022	-	▲ 8,450	▲ 3,835	▲ 4,615	-
当期純利益	▲ 15,188	▲ 24,432	+9,244	-	6,628	▲ 27,703	+34,331	-	▲ 8,560	▲ 52,135	+43,575	-
EBITDA	▲ 8,573	3,782	▲ 12,355	-	5,868	1,297	+4,571	452.4%	▲ 2,705	5,079	▲ 7,784	-

※連結相殺消去後

※EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

引き続きコロナ禍の影響は残るものの、欧州事業などを除いてそのマイナス効果は徐々に縮小していく想定で、下期の連結売上高を前年比18%減の約1,069億円、通期の連結売上高を前年比24%減の約1,875億円と予想する。

通期の国内EC売上高については、専用商品の開発やオンライン販促の強化などにより、500億円規模の実現を目指す。

下期の連結損益は、仕入の抑制と在庫管理の徹底による粗利益率の改善や、不採算店舗の廃止など構造改革の実行による販管費の圧縮により、営業利益が約25億円、当期純利益が約66億円の黒字転換を予想する。

この結果、通期の連結損益は、営業損失が約89億円、当期純損失が約86億円を予想する。

コロナ禍の影響を最も強く受けている欧州事業の赤字が拡大し、今期の連結営業損失の大半を占める見通しであるため、欧州事業の構造改革を今後の最優先課題と位置付けて、可能な限り速やかに実行する。

国内事業については、ウィズコロナ時代の新たなライフスタイルに適応するため、商品改革や販路改革を含めた総合的な事業構造改革を徹底して推進する。

特に、ECと連動する新たな顧客接点の確保のため、郊外立地の商業施設などへの『オムニチャネル対応複合ストア』の新規出店を強化する。今期中に数店舗をスタートし、来期中には数十店舗規模に拡大する予定。

また、これまで好調に推移している、デジタル、カスタマイズ、ライフスタイルの3つの事業領域におけるグループ成長戦略を今後も加速する。

以上を強力に推進し、来期にはROE 5%以上の安定した収益体制の回復を目指す。

**オンワード樫山単体  
国内グループ会社計  
海外グループ会社計  
上期実績および通期予想**



## オンワード樫山 単体

(百万円)

	第1四半期				第2四半期				上期			
	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
売上高	16,247	34,485	▲ 18,238	47.1%	20,433	27,649	▲ 7,216	73.9%	36,680	62,134	▲ 25,454	59.0%
売上総利益	8,835	18,278	▲ 9,443	48.3%	8,073	12,983	▲ 4,910	62.2%	16,908	31,261	▲ 14,353	54.1%
(売上比)	54.4%	53.0%	+1.4%		39.5%	47.0%	▲ 7.4%		46.1%	50.3%	▲ 4.2%	
販管費	10,457	14,547	▲ 4,090	71.9%	12,854	14,297	▲ 1,443	89.9%	23,311	28,844	▲ 5,533	80.8%
(売上比)	64.4%	42.2%	+22.2%		62.9%	51.7%	+11.2%		63.6%	46.4%	+17.1%	
営業利益	▲ 1,622	3,731	▲ 5,353	-	▲ 4,781	▲ 1,314	▲ 3,467	-	▲ 6,403	2,417	▲ 8,820	-
(売上比)	-	10.8%			-	-			-	3.9%		

上期のオンワード樫山単体の売上高は、第2四半期が前年比26%減の約204億円、上期が前年比41%減の約367億円となった。コロナ禍の影響で、特に都心店舗の集客数と売上高が低迷したほか、大型催事の大半が中止となり、大きく売上高を落とす結果となった。

上期の販路別売上高構成比は、ECが39%、百貨店が35%、SCその他が26%と、初めてECが百貨店を上回った。

長期間にわたる店舗の休業中に販売機会を失った商品については、過度な値引き販売による現金化を行わず、下期以降に正価販売を行う方針である。このため、在庫の評価損が一時的に大きく膨らんだことなどから、上期の営業損失は約64億円となった。

## オンワード樫山 単体

(百万円)

	上期				下期				通期			
	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
売上高	36,680	62,134	▲ 25,454	59.0%	53,820	65,963	▲ 12,143	81.6%	90,500	128,097	▲ 37,597	70.6%
売上総利益	16,908	31,261	▲ 14,353	54.1%	28,522	32,527	▲ 4,005	87.7%	45,430	63,788	▲ 18,358	71.2%
(売上比)	46.1%	50.3%	▲ 4.2%		53.0%	49.3%	+3.7%		50.2%	49.8%	+0.4%	
販管費	23,311	28,844	▲ 5,533	80.8%	22,069	27,939	▲ 5,870	79.0%	45,380	56,783	▲ 11,403	79.9%
(売上比)	63.6%	46.4%	+17.1%		41.0%	42.4%	▲ 1.4%		50.1%	44.3%	+5.8%	
営業利益	▲ 6,403	2,417	▲ 8,820	-	6,453	4,588	+1,865	140.6%	50	7,005	▲ 6,955	0.7%
(売上比)	-	3.9%			12.0%	7.0%			0.1%	5.5%		

引き続きコロナ禍の影響は残るものの、そのマイナス効果は徐々に縮小していく想定で、下期の売上高を前年比18%減の約538億円、通期の売上高を前年比29%減の約905億円と予想する。

下期の営業損益は、仕入の抑制と在庫管理の徹底による粗利益率の改善や、不採算ブランド（23区オム・CKカルバンライン）、不採算店舗の廃止など構造改革の実行による販管費の圧縮により、営業利益が約65億円と黒字転換を予想する。この結果、通期の営業損益は、約5千万円の黒字確保を予想する。

## 国内グループ会社計 (オンワード樫山除く)

(百万円)

	第1四半期				第2四半期				上期			
	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
売上高	16,175	17,729	▲ 1,554	91.2%	15,995	15,902	+93	100.6%	32,170	33,631	▲ 1,461	95.7%
売上総利益	7,243	7,921	▲ 678	91.4%	7,466	7,348	+118	101.6%	14,709	15,269	▲ 560	96.3%
(売上比)	44.8%	44.7%	+0.1%		46.7%	46.2%	+0.5%		45.7%	45.4%	+0.3%	
販管費	6,444	6,868	▲ 424	93.8%	8,016	6,861	+1,155	116.8%	14,460	13,729	+731	105.3%
(売上比)	39.8%	38.7%	+1.1%		50.1%	43.1%	+7.0%		44.9%	40.8%	+4.1%	
<b>営業利益</b>	<b>799</b>	<b>1,053</b>	<b>▲ 254</b>	<b>75.9%</b>	<b>▲ 550</b>	<b>487</b>	<b>▲ 1,037</b>	<b>-</b>	<b>249</b>	<b>1,540</b>	<b>▲ 1,291</b>	<b>16.2%</b>
(売上比)	4.9%	5.9%			-	3.1%			0.8%	4.6%		

※単純合算 (オンワード樫山を除く国内グループ会社)

上期の国内グループ会社計の売上高は、前年比4%減の約322億円と健闘した。特に第2四半期は、国内グループ会社計で増収を実現した。なお、オンワード商事、大和、ティアクラスセなどは、上期計でも増収を達成した。

上期の営業損益については、減益ながら約2.5億円の黒字を確保した。

## 国内グループ会社計 (オンワード樫山除く)

(百万円)

	上期				下期				通期			
	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
売上高	32,170	33,631	▲ 1,461	95.7%	39,290	40,938	▲ 1,648	96.0%	71,460	74,569	▲ 3,109	95.8%
売上総利益	14,709	15,269	▲ 560	96.3%	18,622	17,971	+651	103.6%	33,331	33,240	+91	100.3%
(売上比)	45.7%	45.4%	+0.3%		47.4%	43.9%	+3.5%		46.6%	44.6%	+2.1%	
販管費	14,460	13,729	+731	105.3%	16,802	18,287	▲ 1,485	91.9%	31,262	32,016	▲ 754	97.6%
(売上比)	44.9%	40.8%	+4.1%		42.8%	44.7%	▲ 1.9%		43.7%	42.9%	+0.8%	
<b>営業利益</b>	<b>249</b>	<b>1,540</b>	<b>▲ 1,291</b>	<b>16.2%</b>	<b>1,820</b>	<b>▲ 316</b>	<b>+2,136</b>	<b>-</b>	<b>2,069</b>	<b>1,224</b>	<b>+845</b>	<b>169.0%</b>
(売上比)	0.8%	4.6%			4.6%	-			2.9%	1.6%		

※単純合算 (オンワード樫山を除く国内グループ会社)

※2020年2月期第4四半期にオンワードパーソナルスタイルを連結

引き続きコロナ禍の影響は残るものの、そのマイナス効果は徐々に縮小していく想定で、下期の売上高を前年比4%減の約393億円、通期の連結売上高を前年比4%減の約715億円と予想する。

下期の営業損益は、仕入の抑制と在庫管理の徹底による粗利益率の改善や、経費構造改革の進捗による販管費の圧縮などにより、約18億円の営業利益と予想する。この結果、通期では約21億円の営業利益を予想する。

## 海外グループ会社計

(百万円)

	第1四半期				第2四半期				上期			
	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
売上高	12,694	15,005	▲ 2,311	84.6%	4,496	12,093	▲ 7,597	37.2%	17,190	27,098	▲ 9,908	63.4%
売上総利益	4,899	5,752	▲ 853	85.2%	198	3,824	▲ 3,626	5.2%	5,097	9,576	▲ 4,479	53.2%
(売上比)	38.6%	38.3%	+0.3%		4.4%	31.6%	▲ 27.2%		29.7%	35.3%	▲ 5.7%	
販管費	5,232	5,949	▲ 717	87.9%	2,668	5,360	▲ 2,692	49.8%	7,900	11,309	▲ 3,409	69.9%
(売上比)	41.2%	39.6%	+1.6%		59.3%	44.3%	+15.0%		46.0%	41.7%	+4.2%	
営業利益	▲ 333	▲ 197	▲ 136	-	▲ 2,470	▲ 1,536	▲ 934	-	▲ 2,803	▲ 1,733	▲ 1,070	-
(売上比)	-	-			-	-			-	-		

※単純合算

上期の海外グループ会社計の売上高は、前年比37%減の約172億円となった。特に第2四半期（3-5月および4-6月）はコロナ禍の直撃を受けたため、前年比63%減の大幅な減収となった。

この結果、上期の営業損失は約28億円となった。

## 海外グループ会社計

(百万円)

	上期				下期				通期			
	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
売上高	17,190	27,098	▲ 9,908	63.4%	20,482	29,010	▲ 8,528	70.6%	37,672	56,108	▲ 18,436	67.1%
売上総利益	5,097	9,576	▲ 4,479	53.2%	5,050	10,059	▲ 5,009	50.2%	10,147	19,635	▲ 9,488	51.7%
(売上比)	29.7%	35.3%	▲ 5.7%		24.7%	34.7%	▲ 10.0%		26.9%	35.0%	▲ 8.1%	
販管費	7,900	11,309	▲ 3,409	69.9%	10,497	13,772	▲ 3,275	76.2%	18,397	25,081	▲ 6,684	73.4%
(売上比)	46.0%	41.7%	+4.2%		51.2%	47.5%	+3.8%		48.8%	44.7%	+4.1%	
<b>営業利益</b>	<b>▲ 2,803</b>	<b>▲ 1,733</b>	<b>▲ 1,070</b>	-	<b>▲ 5,447</b>	<b>▲ 3,713</b>	<b>▲ 1,734</b>	-	<b>▲ 8,250</b>	<b>▲ 5,446</b>	<b>▲ 2,804</b>	-
(売上比)	-	-			-	-			-	-		

※単純合算

欧州地区を中心に、引き続きコロナ禍の影響は大きいままで推移するとの想定で、下期（6-11月および7-12月）の売上高を前年比29%減の約205億円、通期の売上高を前年比33%減の約377億円と予想する。

下期の営業損益は、商品在庫の評価損の拡大による粗利益率の大幅な低下などにより、約54億円の営業損失を予想する。この結果、通期では約83億円の大幅な営業損失を予想する。

# 財務状況について

- **資金の状況** コミットメントライン締結により200億円の新規枠を、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に備えたバックアップラインとして確保。従来からの枠と合わせて500億円に設定。

■ **設備投資及び減価償却費**

(百万円)

設備投資	2020年8月期	2019年8月期	2020年2月期
連結	3,229	4,236	9,533
HD+樫山	1,303	2,158	4,316

減価償却費	2020年8月期	2019年8月期	2020年2月期
連結	2,728	3,378	6,392
HD+樫山	1,628	2,064	3,937

■ **現金及び預金・借入金**

	2020年8月期	2019年8月期	2020年2月期
現金及び預金	26,306	30,221	28,795
借入金	87,729	71,022	66,387
(借入金の増減) ※期首からの増減	+21,342	+9,630	+4,995
ネットキャッシュ	▲ 61,423	▲ 40,801	▲ 37,592



(百万円)

## ■ EBITDA

	2020年8月期	2019年8月期	2020年2月期
EBITDA	▲ 8,573	3,782	5,079

## ■ 連結貸借対照表

	2021年2月期(予想)	2020年8月期	2020年2月期
総資産	209,032	218,088	234,316
純資産	72,647	67,787	94,036
自己資本比率	33%	30%	38%

(参考) 自己資本 2021年2月期 通期予想68,002百万 上期 64,749百万円 2020年2月期 89,812百万円

※海外グループ会社でのIFRS16号適用に伴い純資産が約100億円減少（償却負担減少により将来の営業利益改善につながる）

## ■ 株主還元の状況

	2021年2月期(予想)	2020年2月期	2019年2月期
1株当たりの配当金	12円	24円	24円
配当性向	-	-	66.9%
配当利回り	-	4.6%	3.8%

# DATA BOOK

(百万円)

		第1四半期				第2四半期				上期				
		当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	
国内	アパレル	売上高	23,179	42,254	▲ 19,075	54.9%	25,996	33,241	▲ 7,245	78.2%	49,175	75,495	▲ 26,320	65.1%
		営業利益	▲ 1,700	3,351	▲ 5,051	-	▲ 6,568	▲ 2,000	▲ 4,568	-	▲ 8,268	1,351	▲ 9,619	-
	ライフスタイル	売上高	7,014	8,882	▲ 1,868	79.0%	8,045	9,007	▲ 962	89.3%	15,059	17,889	▲ 2,830	84.2%
		営業利益	93	519	▲ 426	17.9%	159	447	▲ 288	35.6%	252	966	▲ 714	26.1%
	国内計	売上高	30,193	51,136	▲ 20,943	59.0%	34,041	42,248	▲ 8,207	80.6%	64,234	93,384	▲ 29,150	68.8%
		営業利益	▲ 1,607	3,870	▲ 5,477	-	▲ 6,409	▲ 1,553	▲ 4,856	-	▲ 8,016	2,317	▲ 10,333	-
海外	アパレル	売上高	10,713	11,885	▲ 1,172	90.1%	4,184	10,035	▲ 5,851	41.7%	14,897	21,920	▲ 7,023	68.0%
		営業利益	▲ 527	▲ 602	+75	-	▲ 2,304	▲ 1,404	▲ 900	-	▲ 2,831	▲ 2,006	▲ 825	-
	ライフスタイル	売上高	1,359	1,857	▲ 498	73.2%	95	1,305	▲ 1,210	7.3%	1,454	3,162	▲ 1,708	46.0%
		営業利益	26	266	▲ 240	9.8%	▲ 315	▲ 231	▲ 84	-	▲ 289	35	▲ 324	-
	海外計	売上高	12,072	13,742	▲ 1,670	87.8%	4,279	11,340	▲ 7,061	37.7%	16,351	25,082	▲ 8,731	65.2%
		営業利益	▲ 501	▲ 336	▲ 165	-	▲ 2,619	▲ 1,635	▲ 984	-	▲ 3,120	▲ 1,971	▲ 1,149	-
連結合計	売上高	42,265	64,878	▲ 22,613	65.1%	38,320	53,588	▲ 15,268	71.5%	80,585	118,466	▲ 37,881	68.0%	
	営業利益	▲ 2,112	2,940	▲ 5,052	-	▲ 9,375	▲ 3,801	▲ 5,574	-	▲ 11,487	▲ 861	▲ 10,626	-	

※欧州の上期は12月～5月 アジアと米国は1月～6月

(百万円)

			上期				下期				通期			
			当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比	当期	前期	増減	前年比
国内	アパレル	売上高	49,175	75,495	▲ 26,320	65.1%	68,756	83,460	▲ 14,704	82.4%	117,931	158,955	▲ 41,024	74.2%
		営業利益	▲ 8,268	1,351	▲ 9,619	-	8,174	1,164	+7,010	702.2%	▲ 94	2,515	▲ 2,609	-
	ライフスタイル	売上高	15,059	17,889	▲ 2,830	84.2%	16,804	18,630	▲ 1,826	90.2%	31,863	36,519	▲ 4,656	87.3%
		営業利益	252	966	▲ 714	26.1%	407	749	▲ 342	54.3%	659	1,715	▲ 1,056	38.4%
	国内計	売上高	64,234	93,384	▲ 29,150	68.8%	85,560	102,090	▲ 16,530	83.8%	149,794	195,474	▲ 45,680	76.6%
		営業利益	▲ 8,016	2,317	▲ 10,333	-	8,581	1,913	+6,668	448.6%	565	4,230	▲ 3,665	13.4%
海外	アパレル	売上高	14,897	21,920	▲ 7,023	68.0%	20,506	24,390	▲ 3,884	84.1%	35,403	46,310	▲ 10,907	76.4%
		営業利益	▲ 2,831	▲ 2,006	▲ 825	-	▲ 4,339	▲ 3,934	▲ 405	-	▲ 7,170	▲ 5,940	▲ 1,230	-
	ライフスタイル	売上高	1,454	3,162	▲ 1,708	46.0%	849	3,287	▲ 2,438	25.8%	2,303	6,449	▲ 4,146	35.7%
		営業利益	▲ 289	35	▲ 324	-	▲ 1,192	▲ 197	▲ 995	-	▲ 1,481	▲ 162	▲ 1,319	-
	海外計	売上高	16,351	25,082	▲ 8,731	65.2%	21,355	27,677	▲ 6,322	77.2%	37,706	52,759	▲ 15,053	71.5%
		営業利益	▲ 3,120	▲ 1,971	▲ 1,149	-	▲ 5,531	▲ 4,131	▲ 1,400	-	▲ 8,651	▲ 6,102	▲ 2,549	-
連結合計	売上高	80,585	118,466	▲ 37,881	68.0%	106,915	129,767	▲ 22,852	82.4%	187,500	248,233	▲ 60,733	75.5%	
	営業利益	▲ 11,487	▲ 861	▲ 10,626	-	2,542	▲ 2,200	+4,742	-	▲ 8,945	▲ 3,061	▲ 5,884	-	

※欧州の通期は12月～11月 アジアと米国は1月～12月

(百万円)

	上期						下期予想						通期予想						
	売上高			営業利益			売上高			営業利益			売上高			営業利益			
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
<b>国内</b>																			
オンワード樫山 小計	36,680	62,134	▲ 25,454	▲ 6,403	2,417	▲ 8,820	53,820	65,963	▲ 12,143	6,453	4,588	+1,865	90,500	128,097	▲ 37,597	50	7,005	▲ 6,955	
オンワード商事	8,781	7,711	+1,070	1,450	619	+831	8,260	9,541	▲ 1,281	356	825	▲ 469	17,041	17,252	▲ 211	1,806	1,444	+362	
アイランド	2,307	3,927	▲ 1,620	▲ 413	140	▲ 553	3,616	4,225	▲ 609	322	155	+167	5,923	8,152	▲ 2,229	▲ 91	295	▲ 386	
チャコット	2,950	5,759	▲ 2,809	▲ 632	608	▲ 1,240	4,574	5,088	▲ 514	137	▲ 29	+166	7,524	10,847	▲ 3,323	▲ 495	579	▲ 1,074	
クワイティブヨーコ	2,104	2,797	▲ 693	▲ 36	41	▲ 77	3,059	3,079	▲ 20	213	180	+33	5,163	5,876	▲ 713	177	221	▲ 44	
大和	8,956	7,828	+1,128	484	235	+249	8,785	8,795	▲ 10	627	401	+226	17,741	16,623	+1,118	1,111	636	+475	
(その他)	7,072	5,609	+1,463	▲ 604	▲ 103	▲ 501	10,996	10,210	+786	165	▲ 1,848	+2,013	18,068	15,819	+2,249	▲ 439	▲ 1,951	+1,512	
<b>国内グループ 小計</b>	<b>32,170</b>	<b>33,631</b>	<b>▲ 1,461</b>	<b>249</b>	<b>1,540</b>	<b>▲ 1,291</b>	<b>39,290</b>	<b>40,938</b>	<b>▲ 1,648</b>	<b>1,820</b>	<b>▲ 316</b>	<b>+2,136</b>	<b>71,460</b>	<b>74,569</b>	<b>▲ 3,109</b>	<b>2,069</b>	<b>1,224</b>	<b>+845</b>	
<b>海外</b>																			
欧州計	13,334	20,428	▲ 7,094	▲ 2,557	▲ 1,657	▲ 900	16,913	21,723	▲ 4,810	▲ 4,066	▲ 2,996	▲ 1,070	30,247	42,151	▲ 11,904	▲ 6,623	▲ 4,653	▲ 1,970	
北米計	189	305	▲ 116	▲ 258	▲ 236	▲ 22	381	370	+11	▲ 278	▲ 263	▲ 15	570	675	▲ 105	▲ 536	▲ 499	▲ 37	
アジア計	2,181	3,173	▲ 992	170	34	+136	2,300	3,580	▲ 1,280	▲ 237	▲ 354	+117	4,481	6,753	▲ 2,272	▲ 67	▲ 320	+253	
リゾート計	1,033	2,230	▲ 1,197	115	190	▲ 75	252	2,271	▲ 2,019	▲ 782	▲ 29	▲ 753	1,285	4,501	▲ 3,216	▲ 667	161	▲ 828	
(その他)	453	962	▲ 509	▲ 273	▲ 64	▲ 209	636	1,066	▲ 430	▲ 84	▲ 71	▲ 13	1,089	2,028	▲ 939	▲ 357	▲ 135	▲ 222	
<b>海外グループ 小計</b>	<b>17,190</b>	<b>27,098</b>	<b>▲ 9,908</b>	<b>▲ 2,803</b>	<b>▲ 1,733</b>	<b>▲ 1,070</b>	<b>20,482</b>	<b>29,010</b>	<b>▲ 8,528</b>	<b>▲ 5,447</b>	<b>▲ 3,713</b>	<b>▲ 1,734</b>	<b>37,672</b>	<b>56,108</b>	<b>▲ 18,436</b>	<b>▲ 8,250</b>	<b>▲ 5,446</b>	<b>▲ 2,804</b>	
<b>連結合計</b>	<b>80,585</b>	<b>118,466</b>	<b>▲ 37,881</b>	<b>▲ 11,487</b>	<b>▲ 861</b>	<b>▲ 10,626</b>	<b>106,915</b>	<b>129,767</b>	<b>▲ 22,852</b>	<b>2,542</b>	<b>▲ 2,200</b>	<b>+4,742</b>	<b>187,500</b>	<b>248,233</b>	<b>▲ 60,733</b>	<b>▲ 8,945</b>	<b>▲ 3,061</b>	<b>▲ 5,884</b>	

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

(百万円)

上期	百貨店	SCその他	リアル販路計	自社EC	他社ECモール	EC計	売上高計	EC化率	自社EC比率
<b>オンワード樫山</b>	<b>12,931</b>	<b>9,330</b>	<b>22,261</b>	<b>13,656</b>	<b>763</b>	<b>14,419</b>	<b>36,680</b>	<b>39.3%</b>	<b>94.7%</b>
売上構成比	35.3%	25.4%	60.7%	37.2%	2.1%	39.3%	100.0%		
前年比	42.2%	43.4%	42.7%	150.4%	83.1%	144.2%	59.0%		
EC対象事業会社9社	3,852	10,039	13,891	4,264	1,011	5,275	19,166	27.5%	80.8%
<b>EC対象事業会社計※</b>	<b>16,783</b>	<b>19,369</b>	<b>36,152</b>	<b>17,920</b>	<b>1,774</b>	<b>19,694</b>	<b>55,846</b>	<b>35.3%</b>	<b>91.0%</b>
売上構成比	30.1%	34.7%	64.7%	32.1%	3.2%	35.3%	100.0%		
前年比	47.1%	54.7%	50.9%	145.3%	91.5%	138.0%	65.5%		
その他事業会社							13,004		
国内計（単純合算）	16,783	19,369	36,152	17,920	1,774	19,694	68,850		

※EC対象事業会社・・・ECを運営している国内事業会社

# ONWARD

## ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。  
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、  
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。  
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は  
一切責任を負いませんのでご承知おきください。